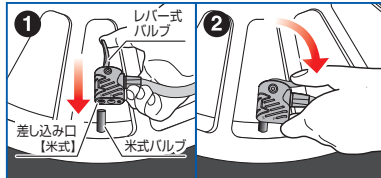
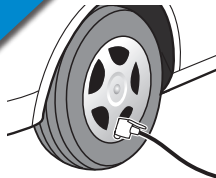




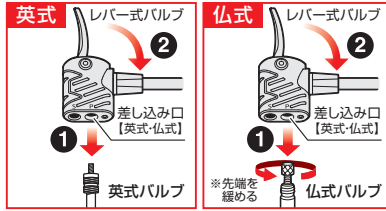
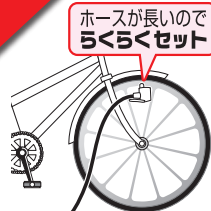
自動車・オートバイに



- レバーを起こして解除してから、レバー式バルブの差し込み口【米式】を、米式バルブに差し込んでください。(タイヤ内の空気が漏れる音がするまで深く差し込む。)
- レバーをホース側に倒して固定してください。
※レバー式バルブを正しく差し込まないで使用した場合、タンク内の空気が遮断され、異常高圧となり、シリンダー内部のピストンおよび圧力ゲージが破損することがあります。



自転車に (シティサイクル・ロードバイク など)



- レバーを起こして解除してから、レバー式バルブの差し込み口【英式・仏式】を、英式バルブまたは仏式バルブに差し込んでください。※仏式バルブはあらかじめ先端を緩めておいてください。
- レバーをホース側に倒して固定してください。



競技用ボール・レジャー用品に

ボール

- 競技用ボールなどに
ご使用の場合



浮輪

- レジャー用品に
ご使用の場合



- レバーを起こして解除してから、レバー式バルブの差し込み口【米式】に、対応するアダプターを差し込んでください。
- レバーをホース側に倒して固定してください。

使用上のご注意

- ご使用になる前に、本製品の各部に変形・ゆるみがないか確認し、ゆるみがある状態では使用しないでください。
- 故障やケガの原因になりますので、ご使用前に必ずシリンダーキャップが外れたりゆるんでいないことを確認してください。また、シリンダーキャップを外したり、分解したりしないでください。
- 砂地や水たまりでの使用を避け、平らな場所でご使用ください。
- 使用時に本製品の可動部分に手や足を入れないでください。
- 圧力ゲージに衝撃や無理な力を加えないでください。測定誤差や故障の原因になります。
- 圧力ゲージの値は目安です。故障時にはタイヤに過大な空気圧が充てられる可能性があります。充てん後にタイヤを手で押すなどして確認してください。必要に応じて、タイヤゲージを使用し、空気圧をチェックしてください。
- 圧力ゲージの自転車の色分けは目安です。自転車の取扱説明書がタイヤ側面に記載された適正空気圧に合わせて空気を入れてください。
- 空気の入れすぎはパンクや破損の原因になります。入れすぎにご注意ください。
- 操作力が大きくなってもタイヤに空気が入らない場合、ポンプ内が高圧になって破裂等の危険があるので、無理に空気を入れないでください。タイヤの虫ゴムが劣化している可能性があります。自転車店などにご相談ください。
- 英式バルブをご使用の場合、その構造上の理由から、圧力ゲージとの間に差が生じます。
- 本製品を本来の用途以外で使用しないでください。
- 改造などは絶対にしないでください。
- SGマーク制度は、空気ポンプの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。